

関の氏神
 亀山八幡宮社務所
 下関市中之町1番1号
 郵便番号 750-0004
 電話 083-231-1323
 F A X 083-232-5365
 発行 平成26年1月1日
 印刷 藤井印刷株式会社



「挨拶」

宮司 竹 中 恒 彦

平成二十六年甲午きのうま、明けましておめでとございませう。
 皆さまには清々しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は一方ならぬお力添えを賜わり、おかげをもちまして、氏神さまの祭典諸行事が滞りなく齎あこりいたしましたこと誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、三重県伊勢市に鎮まります伊勢神宮は古来、日本の総氏神さまとして尊崇されています。昨年の秋、二十年毎に社殿をお建替えする式年遷宮が齎あこりされました。また島根県の出雲大社でも六十年ぶりに大遷宮が行われ、御遷宮に沸いた年でした。

今、伊勢へ、出雲へとたくさんの方がお参りされています。とりわけ伊勢には一三〇〇万人を越す人々が参られ、全国民の十人に一人が参拝されたこととなります。わけても若い人が多いようで、歴女ならぬ伊勢女、出雲ガールと称するそうです。

ところで、亀山八幡宮は平安時代の初期貞観元年に奉祀され、累代藩主の崇敬庇護厚く、旧赤間関の総氏神として尊崇されて、本年は一一五五年になります。

伊勢神宮の式年遷宮も終わりましたので、本年は氏神さまのご鎮座記念祭に併せ、御神殿御屋根葺替えを始め境内各所の石畳の修復、儀式殿の補修など実施し将来に備えたいと存じます。修復事業の詳細が決まりましたら改めてご理解と御協力を御願ひ申しますので、お力添えを賜わりますようよろしくお願ひ申し上げます。

皆さまには氏神さまの御加護をいただかれまして、新しい年のご多幸をお祈りいたします。

雀の子そこのけそこのけ御馬が通る 一茶



伊勢神宮第六十二回遷御の儀を
奉拝させて頂いた感激を

亀山八幡宮常任総代
名池町自治会会長 小田 明

式年遷宮は、二十一年に一度、正殿をはじめとする殿舎と御装束神宝を新たに造り替え、大神に新宮へお遷りいただく「常若」の思想を背景とする祭儀で、八年の歳月をかけ、約三十の祭りと行事を重ねて行います。それによって神殿は常に瑞々しく、大神への永遠の祈りが続けられていくのです。

神宮の式年遷宮は、第四十代天武天皇の御宿願により、その第一回は、皇大神宮では第四十一代持統天皇四年（六九〇年）、豊受大神宮ではその二年後に行われました。以来、式年遷宮は約千三百年の長きにわたり続けられ、今もいくつかの重要な祭儀においては天皇陛下に日時を定めていただく「御治定」を仰いで斎行されます。戦乱でやむなく式年を外れて行われるような困難な歴史を持ちながらも、絶えることなくこの祭儀が続けられてきたことは、時代を超えた人々の敬慕の念の

現れと言えるでしょうし、また、この祭儀の継続により、日本の国が活力に満ちて今日に至っているとも申せましょう。

神宮大宮司鷹司尚武様より、ご案内状を戴く光栄に浴し、十月二日午後八時遷御の儀式を奉拝させて頂く機会を賜り、「日本人の根源」と申しますか、この国に生まれてきた喜びを心から感得しました。日本の国の素晴らしさを肝に銘じて感謝しております。

もれ承りますに、ご神前にて各々の祝詞を奏上されたあとと必ず加えられる御誓文は、「天下の四方の国・国民に至るまで、平らかに安らげく護り恵み幸へ給へ」と「恐み恐み申す」と天皇陛下におかれましても、大宮司におかれましても、国土の安全平和と国民の幸せを心よりお祈り戴く幸せを、亀山八幡宮のご神前に額づき感謝の念をより一層深くします。

厄除け祈願のご案内

平成26年の厄年（数え年）

厄年は人生の節目・転機の年であり、災難に遭遇する恐れが多い年といわれ、一年を無事に過ごせるように、お祓いを受けることが古くから行われています。厄年にあたられる方は、開運厄除けのご祈願をお受けください。

平成26年の年祝い（数え年）

還暦	61歳 昭和29年生う	古稀	70歳 昭和20年生とり
喜寿	77歳 昭和13年生とら	傘寿	80歳 昭和10年生いのしし
米寿	88歳 昭和2年生うさぎ	卒寿	90歳 大正14年生うし
白寿	99歳 大正5年生た	上寿	100歳 大正4年生うさぎ

	前 厄	本 厄	後 厄
男 (大厄42歳)	24歳 平成3年生 ひつじ	25歳 平成2年生 うま	26歳 昭和64年・平成元年生 へび
	41歳 昭和49年生 とら	42歳 昭和48年生 うし	43歳 昭和47年生 ねずみ
女 (大厄33歳)	18歳 平成9年生 うし	19歳 平成8年生 ねずみ	20歳 平成7年生 いのしし
	32歳 昭和58年生 いのしし	33歳 昭和57年生 いぬ	34歳 昭和56年生 とり
	36歳 昭和54年生 ひつじ	37歳 昭和53年生 うま	38歳 昭和52年生 へび
男・女	60歳 昭和30年生 ひつじ	61歳 昭和29年生 うま	62歳 昭和28年生 へび

年祝いは、長寿を迎えられたことに感謝し、今後益々の健康を祈願いたします。誕生日やご家族の記念日等にご家族お揃いでご参拝下さい。

亀山 氏子だより

伊勢神宮の御神札 神宮大麻

伊勢神宮の御神札
神宮大麻

伊勢神宮は、日本人の大御祖神であり、総氏神にあたる天照大御神さまをおまつりしています。

この伊勢神宮で清浄を第一として奉製されている御神札が「神宮大麻」で、親しみを込めて「お伊勢さま」「おはらいさま」とも呼ばれています。

大御神さまの太陽の光のように明るく恵み多い御神徳を仰ぎつつ、家族や職場の平安を願いおまつりができるように、全国各地の神社で「神宮大麻」が頒布されています。



▶神宮大麻 (お初穂料800円)

神棚は家族や会社の守り神 神棚をおまつりしましょう

神棚には、全国の総氏神さまとして崇敬されている「伊勢の神宮」の御神札「神宮大麻」と、地域の守り神「氏神さま」の御神札をあわせておまつりします。

新年を迎えるたびに新しい御神札にあらためて一年の平安をお祈りしましょう。



龜山さんの御神札 (お初穂料800円)

龜山八幡宮御神札▶

大福梅 (5粒入り)



塩漬けの梅をカラカラに干し、新穀の藁に包み神前にお供えし正月の縁起物(神社製)。さ湯やお茶にひたして飲めば、その年に健康に過ごせると伝えられています。

(お初穂料600円)

お正月案内

ふく雑炊接待

1日0時から。氏子青年会「亀笑会」のご奉仕により、初太鼓の後、約1000杯のふく雑炊が振る舞われます。

梅茶・甘酒授与

1日から3日。17時まで。

梅茶はお正月の縁起物「大福梅」で1杯150円。

甘酒は1杯200円。

開門・閉門時間

1日は21時に閉門。2日・3日は5時に開門20時に閉門。

ご祈願について

新しい年がより良い年でありますように、新春のご祈禱を齎行いたします。

【新春開運ご祈禱】

家内安全・事業繁栄・商売繁盛
身体健康・交通安全・厄除開運
受験合格など

受付順にご案内しますので、ご予約は受けていません。ただし、

企業・団体の方は準備の都合上事前に申し込み下さい。

【☎(231)1323(社務所)】

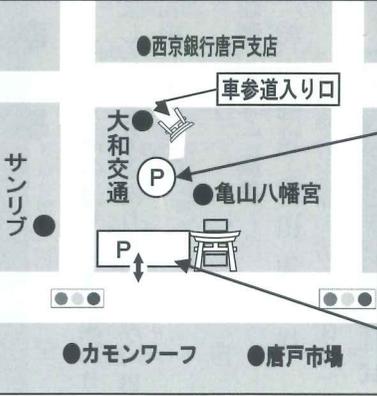
古神札焼納について

1日から3日に行っていました古い御札や御守、縁起物の焼納は行いません。納める場所は設置いたしますが、次ページの「どんど焼き」についてのお願いをご熟読の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

正月の駐車場案内

《境内駐車場》
12/31 午後10時
~1/1 午前3時
駐車禁止

《マリナーパークからと》
(有料駐車場)
12/31 午後10時
~1/3 午後8時
参拝者1時間無料



どんど焼き

1月15日(水)

午前7時から午後3時

2月3日(月・節分)

午前7時から午後7時

1月15日(水)には、亀山八幡宮本社と境内社にお供えされた鏡餅を細かくし、しめ飾りのわらで焼き参拝の方々に振舞います。

どんど焼きについてのお願

昨今の環境問題(焼却灰の処理)など諸般の事情により、しめ飾り・古い御札や御守・縁起物などは、分別焼納することになりました。また、神社に設置の古札箱は本来の趣旨に反する物品を納められるなどから閉鎖し、古札類は社務所へお持ちいただくようにしております。

どんど焼きは例年通り行いますが、下記をよくお読みになりまして、正月三が日までの分別と、どんど焼きの日は、職員やご奉仕の方の指示にご協力下さい。

お納めできないもの

- ①本・雑誌・冊子・家計簿・カレンダー・ポスター・チラシ・宝くじなどの刊行物(お宮・お寺・その他宗教関係が出版している社報・本・チラシなど含む)
- ②手紙・年賀状・日記・写真・財布・衣類(故人の物品も含む)
- ③仏壇・仏具・数珠など神社神道関係以外のもの
- ④人形・ぬいぐるみ・人形のケース・電化製品・酒ビン・ガラス陶器類・金属類
- ⑤お正月の鏡餅・ダイダイ・みかんなどの食品、鏡餅のケースや箱やプラスチック製のみかんなど(特にしめ飾りのみかんは外して下さい)
- ⑥門松の針金や竹の中の土

【これらの中でどうしてもの場合は神社へご相談下さい】

※以上、お断りした品物については、ご家庭・会社等で処分して下さい。(ご心配の方は、お祓いをお受けになるか、お塩でお清めして下さい。)

※紙袋・レジ袋・ビニール袋はお持ち帰り願います。

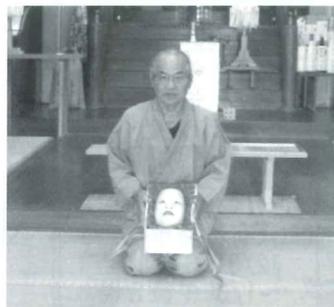
奉納

この度左記の通りご奉納賜わりました。ご芳志ありがとうございました。ご厚く御礼申し上げます。

能面「童子」奉納

能面師 松田龍仁様

(面龍会主催・防府市在住)



平成25年10月26日奉納式

アルミ製ベンチ

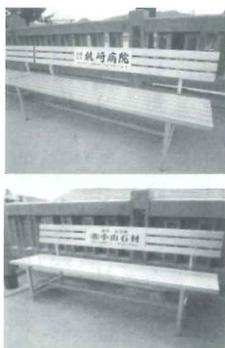
三脚 医療法人 桃崎病院

三脚 株式会社 桃崎能正様

三脚 巧様

三脚 巧様

三脚 巧様





豆まき式(餅まき)
午後6時30分頃

午後6時から。開運厄除祈願にあわせ、鬼やらい(鬼の舞)の神事が斎行されま

す
本殿祭・鬼やらい
前売り180円
当日券200円

どんどん焼き
午前7時から午後7時まで
玉替式(福引き)
午後3時から午後7時まで
空くじなし。1等「金の玉」、
2等「銀の玉」他、「ダイヤ
モンドプチネックレス」な
ど豪華景品も用意。



節分祭

平成26年2月3日(月)

関門地方に春を告げる

馬関名物 凧あげ大会

2月3日(月)【雨天中止】

受付 14:00~16:00 大会 15:00~17:00

場 所：唐戸魚市場芝生広場

参加費：無料

賞：意匠賞・滞空賞

(大人の部・子供の部 各1~3位)



12年に一度の機会です。鬼の舞の神事参列と餅まきをしてみませんか。

還暦・年男・年女募集



うま年生まれ
大正7年・昭和5年・昭和17年・昭和29年
昭和41年・昭和53年・平成2年・平成14年

折り返し案内状をお送り致します。

※参列希望の方は社務所までご連絡下さい。
【☎2311323】

※^{かみしも}袴もご用意できます(別途1万円)

会費 大人 1万円 子供 5千円

午後6時00分、本殿祭参列

午後5時30分、写真撮影

午後4時30分、受付

日時 平成26年2月3日(月)

年男・年女の方のご健康と、ご活躍を祈念する「開運厄除け祈願祭」にあわせ行われる、鬼やらい・豆まき式。ご参列いただけます。「うま年生れ」の方を募集しています。

凧づくり教室



凧あげ大会に先立ち、凧愛好家グループの指導のもと、「ふく凧」や「ダイヤ凧」などが作れる凧づくり教室が開催されます。

□日時 1月26日(日)

午後1時~4時

□会場 亀山八幡宮儀式殿

□会費 800円(材料費)

□定員 80名(申込順)

□持参品 のり・木工用ボンド・ハサミ・カッター・クレヨン・マジックなど

【申し込み】

亀山八幡宮社務所

☎2311323

※小学校低学年以下のお子さんには保護者の方と一緒にご参加下さい。

亀山八幡宮御鎮座一一五五年記念事業について

当宮は、貞観元年(八五九年)大分県の宇佐神宮より勧請・こ鎮座されてより、本年一一五五年を迎えます。

近年、御神殿の雨漏り、柱などの腐食から、神庭を囲む土塀や石畳のひび割れなど、境内・施設の傷みが激しくなり、このたび左記の通り事業を行うことになりました。

○御神殿修復事業

御屋根修葺、宮柱修復、濡れ縁修復

○境内整備事業

神庭土壁修復、石畳新設・修復、お亀明神社周辺整備、樹木整備、その他

○儀式殿補修事業

屋根、外壁塗装



御神殿

上記の事業予算など詳細が決まりましたら、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記念事業奉賛金

左記の方々からご協賛をいただきました。厚く御礼申し上げます。

一金 千百五十五万円

福岡市 河合豊明様

一金 百万円

宮崎市 佐藤美春様

名池町 小田 明様

一金 五十万円

上新地町 東 良久様

唐戸町 岡村芳雄様

第62回神宮式年遷宮 お白石持行事



「お白石持行事」とは、神宮の遷宮諸行事のひとつで、完成した正殿の立つ御敷地に「お白石」を奉献する行事です。

伊勢市を流れる「宮川」で拾い集めた「お白石」を奉曳車・木そりに乗せ、沿道や川を練り進みます。神域に入ってから、一人ひとりが白布に「お白石」を包み、遷宮後は立ち入ることの出来ない新宮の御垣内、真新しい御正殿の近くまで進み奉献します。

地元の旧神領民に加え、全国の「特別神領民」も参加し、昨年の七月二十六日から九月一日まで行われ、全国から二十二万六千人が参加しました。

亀山八幡宮の関係では、八月四日に敬神婦人会が、八月十一日に亀笑会会員十一名が内宮への奉献を行いました。

「お白石持奉献」にご奉仕して

亀山八幡宮敬神婦人会

平岡典子

「山口県下関 亀山八幡宮敬神婦人会」の口上に「せいや」と力いっぱい答え、満を期して綱を曳く…千三百年余り続いてきた伊勢神宮式年遷宮で特別神領民として私達の「お白石持ちご奉献」が始まりました。

時は平成二十五年八月四日 暑い、暑い夏です。

全国より日本の心を伝承せんが為に、どこか誇らしげにたくさ



亀山 氏子だより

(7) 平成26年1月1日

んの人々が集い、その力を結集して「お白石奉獻車」の綱を持ち曳きます。次に手渡して「お白石」を白布で受け取りご正宮に進みます。多くの神領民で一步一步が果てしなく感じられ、心は木々の間を飛びます。気を新たにし、又進みます。「お白石」を何処に奉獻すれば良いのか悩みながら歩みます。自分で此処と決め「参りました」とそつと置きます。又、歩みますと、一塵の風：眼の前には両手を合わせ一心にお祈りされる凛として佇む女性の姿。お顔は白く透き通り、瞳の縁うす赤く感涙の様子に日本人の心を感じ目頭が熱くなりました。



さらに夕方身を清めるために二見浦の二見興玉神社にて「浜参宮」を行いました。島根や広島の方々の奉獻団の方々

じました。又、二十年后にこの地に来てこの心を感じてみたいと思います。
(唐戸町)

亀山八幡宮敬神婦人会

「お白石持行事」に参加して

酒井 由美子

昨年八月四日、内宮正宮の域内に敷き詰める「お白石」を奉獻する「お白石持行事」に特別神領民としてご奉仕させていただきました。

前日の三日は、内宮の神楽殿にて神楽奉納ののち、御垣内参拝をいたしました。神楽の時の舞はとても素晴らしく、美しさに引き寄せられました。御垣内参拝も大勢の参拝者の中厳かに執り行われ、身の引き締まる思いと神様にほんの少し近づけたという幸せな思いでいっぱいでした。



と一緒に、靈草無垢塩草でのお祓い、お浄めを受けました。これで明日の行事に身も心もすがすがしい気持ちで望める準備が整いました。

四日は、真っ白な装束に身を包み外宮を参拝したのち内宮へ。私たちを含め全国から集まった特別神領民により「お白石」の奉獻、奉獻が行われました。台車(奉曳車)の上にはたくさんのお白石の入った桶が積み重ねられ、それと皆と一緒に「えんや！えんや！」と声を合わせておはらい町を宇治橋前まで曳いて運びました。暑い中でしたが力を合わせることで皆と一つになった喜びを感じました。

宇治橋を渡り、皆それぞれが一つつお白石を白布に包み静かに進みます。真新しい玉垣の中、やがて神様がお通りになる道を私たちが先に歩き、ご正宮の域内にお白石をそつと置きました。間近で拝見するご正殿はとて大

大きく、その荘厳さに圧倒されました。ご正殿は太陽に照らされ黄金に光り、また欄干の五色の玉を輝かせ、域内はお白石により光輝く世界でした。

この新しいご正宮に遷御されましたら、新たな力をいただき、このお白石の輝きを受けて私たちをお守りくださること信じております。この度、長い歴史を持つ伝統行事「お白石持ち」にご奉仕できましたこと、大変喜びに感じ、亀山八幡宮の氏子であることにとても感謝いたしました。二十年后、元気にまた奉仕できますことお祈りいたします。
(唐戸町)

亀山八幡宮敬神婦人会

お白石行事に参加して

森 本 迪 子
(綾羅木本町)

神域に人の輪あふれ露けしや

内宮の正式参拝涼新た

お白石持ち関の氏子ら秋澄みて

亀笑会創立五十周年
記念式典開催

昨年、当宮の諸祭・諸行事にご奉仕いただいています氏子青年会「亀笑会」が五十周年を迎え、平成二十五年十一月二日に記念式典が開かれました。

式典に先立ち、本殿にて創立五十周年と記念事業竣工の奉告祭を斎行。あわせ、歴代会長の特別奉仕者（二名）、二十年以上の永年奉仕者（十三名）の表彰が行われました。引続いて、記念事業「社号標」の除幕式を行いました。

記念式典には、県神社庁金長庁長様、参議院議員江島様、市長代理国重副市長様、常任総代小田様をはじめ、県内の氏子青年・神職・当宮の総代の方々も参加され、会員も含め八十三名の出席者のもと盛会に行われました。



亀山八幡宮氏子青年会亀笑会 平成25年11月2日
創立50周年記念に、社号標建立

亀笑会創立五十周年記念事業として、一昨年末に強風と老朽の為に倒壊した社号標を、御影石にて建立していただきました。
大鳥居とのバランスから台座も含めて高さ四尺、横〇・六尺。



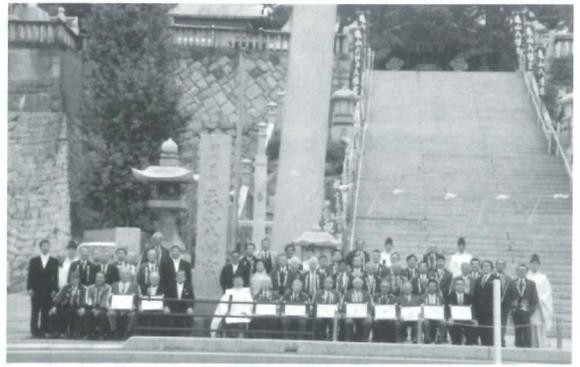
除幕式



社号標・大鳥居左側



▲祝賀会の清興に「豊亀会」（亀笑会会員5名在籍する金剛流謡曲の会）による「鶴亀」披露



除幕式後、記念撮影

亀笑会のあゆみ

昭和三十八年に唐戸町の商店主が集い神社への協賛と親睦を深めようと鬼笑会を結成しました。その後、帰郷した福宜（現・宮司）を支えようと比較的若い人たちが中心となり亀笑会が結成され、鬼笑会の精神と活動は亀笑会へと引き継がれました。当初二十名の会員はその数を増やし現在は九十一名となりました。

亀笑会とは「亀山さんの行事を笑顔で奉仕しよう」という趣旨で命名され、春夏秋冬それぞれの祭礼の一ヶ月前に集います。まず御神前で正式参拝し大祓詞を奏上したのち、儀式殿で例会を開き懇親会を開催しています。

平岡泰彦現会長は全国氏子青年協議会の会長を二期四年つとめるなど、亀笑会は全国でも最も古い会の一つで、活動や会員数が注目されています。

さて、長い歴史の中で周年事業として結成二十周年に車参道に社号標建立、三十周年はお亀さん顕彰碑を建立、四十周年には正面参道両脇につつじの植栽整備をされています。



亀山八幡宮敬神婦人会 創立20周年記念に鈴雄奉納

亀山八幡宮敬神婦人会は、亀笑会同様に春夏秋冬の諸祭・諸行事にご奉仕いただいています。平成五年十月二十日に発会してから昨年二十年の節目を迎えました。これを記念して、本社の鈴緒五本を奉納。真新しい鈴緒が参拝者をお迎えします。昨年十二月一日に、二十周年の奉告祭を斎行し、儀式殿にて懇親会が開催されました。

宮司による卓話



▲全国敬神婦人会創立65周年表彰者への表彰式

20周年奉告祭を斎行



奉納
例年通り、ご奉納いただきました。御芳志ありがたく、厚く御礼申し上げます。

白米	内日町	福田	千里
もち米	一俵		
白米	二俵		
もち米	二俵		
大豆	二俵		
白米	二俵		
もち米	二俵		
大豆	二俵		
白米	二俵		
もち米	二俵		
大豆	二俵		

白米	二俵	椋野町	岩村	朋之
もち米	二俵	椋野町	三ヶ本	秀伸
大豆	二俵	椋野町	高田	貞一
白米	二俵	椋野町	山本	稔
もち米	二俵	椋野町	安田	正信
大豆	二俵	椋野町	山本	稔
白米	二俵	椋野町	高田	貞一
もち米	二俵	椋野町	三ヶ本	秀伸
大豆	二俵	椋野町	高田	貞一
白米	二俵	椋野町	山本	稔
もち米	二俵	椋野町	安田	正信
大豆	二俵	椋野町	山本	稔



特別能「翁」(金剛流)

再復興二十五周年記念
「亀山能」催能
(平成25年10月26日)

狂言「盆山」
(大蔵流)



能「清経」
(金剛流)

下関市無形文化財・神事亀山能は、昨年再復興二十五周年を迎え特別能として「翁」が六十年ぶりに催能されました。能楽師の豊嶋晃嗣氏が亀山八幡宮所蔵の有形文化財「翁の面」を持って「翁」を舞いました。

亀山 氏子だより

(10) 平成26年1月1日

御神供米奉献ご芳名

(敬称略・順不同)
 昨年末にご奉献いただきました御神
 供米・お初穂料を元日に御神前へお供
 えし、皆様方の家内安全・商売繁盛を
 ご祈念いたしました。

吉田水産	大和交通	山口整形外科	ものばん	藤井印刷	平越商店	西日本液化ガス	西中国信用金庫	シモンセン	サンデン交通	紺筒砲火薬	湖月	河合製氷冷蔵	海転からと市場寿司	織田クリニック	うに甚本舗	いにく	有松秀敏	山口銀行	山口合同ガス	下関唐戸魚市場	下関海陸運送	桑原章	菊谷茂吉商店	大西商事	愛の会光風園病院									
前田内科病院	フジ食品	畑水産	野口工務店	日本通運下関支店	中村物産	永富歯科	泰平ビル商事	新ホー	下関商業開発	下関酒造	JRC	サンリブ唐戸店	佐島医院	小山石材	コークエ	キクヤ	沖田法律事務所	岡村芳雄	エミクス	江正陣	魚田栄子	岩田印刷	泉菊印	石川カウチンテック研究所	青柳芳子									
戎屋茶道具店	エクリブス	ASウオタニ	雲丹千代本店	内田忠義	魚城敏重	岩城敏子	入江町自治会	入江青果	井上春夫	井上整形外科クリニック	井上建設	いとうや文具店	イソベ写真店	伊豆元敦子	伊豆正義	石森武治	石田武治	池辺商会	イー・ティー・エス	粟根昭男	有吉本店	尼安靖子	安部靖子	油政商店	秋本藥局	上利金庫店	アカマツ興産	相澤齒科	立正佼成会下関教会	安成工務店	森山病院	村田写真館本館	ミユキ	
ケイアンドジェイ	黒水研	倉富ユミ	熊谷まちこ	キヨク	来楽亭	協永産業	貴船建設	喜多川	喜膳	亀笑会G同好会	岸本税理士事務所	関門港湾建設	関釜フェリ	河合信昌	河合貞夫	河合昌久	亀屋薬局	かねよし	金山板金工業	割烹宮常	勝原明	カチ眼鏡店	カジワラ酒店	角野正治	小田明	小田澤	奥村雅弘	小川う	岡の	おがた婦人科クリニック	緒方宏	大津屋	大池實	
昭和下水道工業所	松琴堂	瞬報社写真印刷	春帆楼	下関勇次水産	下関毒舌会	下関タタミ	下関体育センター	下関倉庫	下関水陸物産	下関食糧	下関商工会議所	下関山電タクシー	下関合同花市場	下関植木	清水建設下関営業所	清水一正	三和工業	山陽チップ工業	三陽	サンデン旅行	サンデン広告	サンズパックス	佐々木板金所	佐々木整形外科・外科	坂井年夫	酒井商社	彩雲堂工芸社	西城茂昭	斎藤芳昭	西京銀行唐戸支店	金剛住機下関支店	古串屋	合が青果	
東京第一ホテル下関	土井六郎	天恵堂薬品	寺崎整形外科	出来木材加工所	テスキモスク	長エモ	中国通信工業	田村青果	田中彦三	棚田彦三	田中町自治会	田中青果	ダスキン日進	竹内孝子	宝辺商店	多賀正武	タカツキ	高田合同事務所	高杉接骨院	高石忠男	ダイワ技研	そば処	素畑公三	瀬畑公三	誠和クリエイト	住吉運輸	スナツク	鈴木玩具店	鈴木弘一	寿司処ひのき	晋川鉄工所	白丸硝子店	得丸硝子店	東洋機工サービス

氏神さまのご神前で
 荘厳な結婚式と
 和やかなご披露宴を…

亀山八幡宮儀式殿

TEL 083(233)1986
 FAX 083(233)1835

忘年会・新年会・同窓会
 等、各種イベントにもご
 利用できます。

梅野のうまの日本和西肉奈南浪中中中長内と豊友富得東
 はぎはら村寿のうまの日本和西肉奈南浪中中中長内と豊友富得東
 酒軒菓製内科子司科道菓会花昭気治科人城次田業己社
 店軒菓製内科子司科道菓会花昭気治科人城次田業己社
 ふるやしき 古谷 悟

亀山 氏子だより

(11) 平成26年1月1日

モ ド サ ロ ン 中 村	三 好 本	宮 下 や	宮 下 弘	宮 崎 ガ ラ	三 村 勝 則	み な と タ ク シ	道 中	溝 部 工 務 店	瑞 穂 糧 穀	三 島 商 会	三 澤 酒 店	萬 力	丸 十 タ ナ カ	丸 幸 商 事	丸 ゲ ン 包 材	丸 キ 酒 店	松 本 千 賀 子	マ ツ ム ラ カ メ ラ	松 井 外 科 整 形	増 谷 具 服 店	前 田 米 穀 店	前 田 海 産	前 田 啓 子	本 部 伊 佐 子	堀 越 伊 佐 子	防 長 経 済 新 聞 社	帆 足 医 院	弁 護 士 法 人 ラ グ ー ン	ペ ー ジ ・ ワ ン	ふ じ か わ	ナ カ ト ラ	古 屋 忠 久
岡 崎 正 道	大 田 正 嗣	大 竹 安 子	江 村 茂 子	薄 島 直 光	岩 本 伸 計	稲 垣 時 計	伊 藤 重 光 堂 薬 局	伊 藤 藤 恵 助	伊 ソ オ ク 鍼 灸 整 骨 院	石 丸 元 保 彦	秋 本 孝 子	秋 丸 孝 子	渡 辺 修 策	リ ー 美 容 室	領 家 貞 夫	ラ ー メ ン ハ ウ ス 一 龍 軒	米 本 秀 石	米 田 要 子	ユ ニ コ ン	山 野 旗 幕 染 工 場	山 中 定 一 山 中 志 徒 恵	大 和 無 線	大 勝 商 次	山 縣 純 邦	山 縣 純 邦	柳 川 水 産	安 田 和 夫	恭 井 建 設	焼 肉 処 石 亭	森 本 迪 子	桃 太 郎	桃 崎 病 院

お 問 合 せ 社 務 所 ☎(231)1323	勸学祭(ランドセルのお祝い) 小学校入学を控えたお子様の勸学祭を執り行っております。 (4月8日まで毎日執行)		と さ き 歯 科	筒 井 一 郎	田 中 利 則	田 中 卓 也	立 石 卓 也	多 田 代 元	田 代 元	竹 之 内 富 子	大 洋 船 具	首 藤 喜 代 子	下 関 土 産 セ ン タ ー	下 関 レ ン タ カ ー	柴 崎 國 雄	C & C	迫 脊 椎 矯 正 院	小 西 酒 店	コ ン ト ウ	ケ ン コ ー カ メ ラ	國 津 静 子	き よ も と 園	川 室 房 人	嘉 室 邦 雄	金 ヶ 江 邦 雄	貸 衣 裳 千 景 店	小 野 倫 子	お 野 富	奥 田 染 工 場	岡 崎 博 友
	ブ テ ィ ッ ク 結 衣	長 岡 満 嘉	田 中 喜 久 男	田 嶋 靖 弘	島 定 本 和	金 魚 和 邦	岡 村 邦 昭	浦 部 へ ア ー サ ロ ン	ワ カ エ ビ ス	山 本 菊 栄	山 崎 滋 子	村 上 隆 江	村 田 網	三 戸 田 逸 三	松 本 卓 商 事	松 岡 龍 雄	松 浦 福 太	へ ア ー サ ロ ン ふ じ い	林 徳 海 苔	深 井 和 代	ビ ー テ ィ ー サ ロ ン み さ き	西 山 青 芸	西 井 正 彦	中 ヨ 商 店	な が え 写 真 館	豊 永 治 次	特 急 は ん や			

長府高等学校1年生2名
インターンシップ
(11月13、15日)




川中中学校2年生3名
職場体験
(11月8日)




日新中学校2年生2名
職場体験
(11月7、8日)

▲早鞆高等学校2年生6名
インターンシップ
(8月12~14日)



職場体験・インターンシップ
(平成二十五年)

お米の脱穀・粃すり・注連飾り作り
平成25年12月15日
於)亀山八幡宮境内





抜穂祭・稲刈り
平成25年9月22日
於)市内吉母・御神田





亀の子会の活動

祭事 暦(予定)

- 1月
 - 3 椋野八幡宮歳旦歳
 - 10 十日戎祭(南部町)
 - 12 五穀神社初神楽
 - 15 どんと焼き
 - 2月
 - 19 新春囲碁大会
 - 22 宮地嶽神社初神楽 (境内社)
 - 26 凧作り教室 (境内社)
 - 3月
 - 3 節分祭・凧あげ大会・玉替式
 - 8 針供養祭
 - 9 恵比須神社ふく祭 (南部町)
 - 11 新春俳句大会 (南部町)
 - 11 建国祭
 - 3月
 - 10 恵比須神社十日戎祭 稚児舞(境内)
 - 18 彼岸祖霊祭(21)
 - 24 熊鷹稲荷神社春祭
 - 4月
 - 30 氏子町内対抗球技大会 (境内社)
 - 5月
 - 1 新入学奉告・学業成就就 朗ドセル清祓(〜8)
 - 稲荷神社初午祭(赤間町)
 - 福寿稲荷神社祭(細江町)
 - 11 椋野八幡宮地神祭
 - 29 子供すもう大会
 - 5月
 - 3 五穀祭・お亀頭影祭・八丁浜・柔道大会
 - 5 扇塚祭・剣道大会
- ※毎月1日、15日は月次祭
 ※毎月1日は早起き会
 (1月は15日)

いぬ 安産祈願・若田帯清め祓い 戌の日のご案内

- 1月3日(金)・15日(水)・27日(月)
- 2月8日(土)・20日(木)
- 3月4日(火)・16日(日)・28日(金)
- 4月9日(水)・21日(月)
- 5月3日(土)・15日(木)・27日(火)
- 6月8日(日)・20日(金)

- 腹帯(マタニティガードルなど)をご持参下さい。御朱印を押した後お祓いします。
- ご本人に代わってのご祈祷の場合は、ご夫婦のお名前・生年月日・住所をご確認の上ご参拝下さい。
- 犬の安産にあやかりこの日が選ばれますが、都合の良い日にお参りされても受付いたします。

2月11日(火・祝日)

建国記念の日奉祝下関市民大会

下関生涯学習プラザ・海のホール

大会・パレード共にどなたでも参加できます。どうぞお誘い合わせの上、日本の国の誕生をお祝いしましょう。

午後2時20分 式典
 午後3時20分 奉祝記念芸能

和太鼓集団「志多ら」公演

※志多ら：愛知県北設楽郡東栄町を拠点として、和太鼓・篠笛を中心に国内・国外で活躍している創作和太鼓集団。

祝賀パレード(下関生涯学習プラザまで)

▼集合 午後12時30分

東部地区 あるかぼーと親水緑地
 西部地区 厳島神社前(上新地町)
 彦島地区 彦島広場公園(ひこまる駐車場)

▼出発 午後1時

亀山囲碁最高位決定大会 1月19日(日)

- ▼開始 午前9時
- ▼会場 亀山八幡宮儀式殿
- ▼参加費 1500円

(昼食弁当含む)
 有段者対象の大会ですが、級位者も初段格として参加可能です。当日受付可。

○問い合わせ 社務所

☎(231)1323

新春俳句大会

2月9日(日)

- ▼受付 午前11時30分
- ▼投句締切 午後1時
- ▼大会 午後1時
- ▼会場 亀山八幡宮儀式殿
- ▼投句 2句

(初詣・どんと焼き・凧作り・節分など)

▼参加費 500円

どなたでも参加できます。午後1時からの大会は講演会(約1時間程度)・選者講評・表彰式

▼問い合わせ 社務所

☎(231)1323

十日えびす祭 3月10日(月)

- ▼時間 午後3時
- ▼境内 恵比須神社前
- ▼雨天 亀山八幡宮(本社)
- ▼家内安全・商売繁盛・大漁満足を祈念するお祭り、稚児姿をした園児6名が、笛や太鼓の音に合わせ舞う神楽「えびす舞」を奉納します。

▼参列者へは鯛や大判・お札などで飾られた福笹を授与します(お初穂料1000円)

▼祭典前に唐戸商店街にて稚児行列を行います(雨天中止)

